

2021年度 企業との懇談会（報告書）

1. 趣旨

企業との情報交換を通して、企業が新卒者に求める資質や能力を知り、送り出す側の大学ではどのような教育が求められるのかを考える契機としたい。また、本学卒業生の職場での働き方についてのコメントを拝聴し、意見交換をする場とする。

2. 開催日時

11月11日（木）13:00～15:25（Zoomを使用したオンライン開催）

3. 出席者 12名

参加企業（6社）

T社（インテリア製造メーカー）、S社（建設・不動産）、N社（ホテル）、
Z会（農畜産物販売・生産・生活資材供給）、S社（衣食住ブランド企画・販売）、
T医院（歯医者）

本学出席者（6名）

油谷純子学長、山田隆文副学長兼歯科衛生学科長代行、小松由美特命学長補佐、
伊藤浩正製菓学科長、上岡史郎ビジネス社会学科長、鈴木あ久利就職支援部長

4. 主な懇談内容（ご意見等の抜粋）

（1）近年の採用動向

①コロナ禍での採用職種と採用数の増減について

- ・事務職の採用に特に変化はない。
- ・事務職については採用を半減させた。

②女性のキャリアパスについて

- ・事務職から総合職への転換制度を設けている。
- ・育児休業明けの復職を支援している。

（2）企業が新卒者に求める資質・能力、大学教育に期待すること

①学生の就職活動に際して

- ・自己分析はしっかりやっていると感じる。
- ・業界研究が浅いため、広く深く研究し、理解を深めてほしい。
- ・社会人になる心の準備（心構え）について指導していただきたい。

②学生生活で身につけてほしいこと

- ・多方面に興味・関心を持って学生生活を送ってほしい。

- ・対人業務にコミュニケーション力は必須であるため、多くの人と関わる力をつけてほしい。
- ・幅広い考え方を付けるためにも見聞を広げ、興味のある事柄だけではなく、さまざまなことに目を向けてほしい。

(3) 本学卒業生の働き方のコメント など

- ・目白大学短期大学部の卒業生は積極性がある。
- ・採用時に希望職種ではなくても、前向きに仕事に取り組んでいる。
- ・自分で考えて物事を進められるとなお良い。
- ・責任感を持って取り組む姿勢が上司からも高く評価されている。

5. 実施総評

教員は普段学生とは接していても、外部の方々と接する機会はかなり限られていることから、参加企業の方々から忌憚のないご意見をいただいたことは大変有意義であった。学生への指導として、在学中に意識させたいことや学科の教育内容を検討していく上で、多くのヒントを得ることができたと考える。学生は、自分が興味のある事柄については情報を詳しく調べるものの、関心の薄い事柄については浅い傾向がある。多方面にわたる情報収集は見聞を広げることや人間性を豊かにすることに繋がる。さらに、多くの人と関わる際のコミュニケーション力についてご意見をいただいた。卒業後を見据えた対人関係の構築やコミュニケーション能力を磨く必要性をあらためて感じた次第である。2022年度は見聞を広めるためにも教養マラソンへの積極的な参加を促すほか、情報教育の内容充実を図る。また、次年度は学内のキャリア委員も参加者に含めるなどして学生と企業とを繋ぐ役割を強化したい。

以 上

目白大学短期大学部 内部質保証委員会（短期大学部会）